

「鈴鹿川お魚シンポジウム」  
～流域の希少種の保全と次世代を育成する環境教育を目指して～

日時：平成 29 年 2 月 19 日（日）

13：00～16：00

場所：亀山市文化会館コミュニティホール

1 開会

2 会長挨拶

3 基調講演・話題提供

講師：森 誠一（岐阜経済大学教授）

演題「みえ 川のクニ ～宝の魚をまもること～」

4 報告

国土交通省三重河川国道事務所

「鈴鹿川における河川水辺の国勢調査結果」

5 学校・団体発表

① 東海タナゴ研究会

「ヤリタナゴ復元放流と地域住民による里川管理」

② 水辺づくりの会

「うお座の生物多様性保全活動」

③ 四日市農芸高校

「農芸高校生物部の活動紹介と内部川下流域での淡水魚調査報告」

<休憩 >

④ 太田自然塾

「自然の復元」

- ⑤ 鈴鹿高校  
「鈴鹿川水系の環境調査」
- ⑥ 魚と子どものネットワーク  
「水辺の保全とネットワークづくり」
- ⑦ 亀山の自然環境を愛する会  
「会の活動と子ども達の自然学習」

## 6 意見交換・交流会

## 7 閉会

展示 流域の希少魚類等の水槽展示、行政・団体のパネル展示

講師：森 誠一（もり せいいち）氏のプロフィール

1956 年三重県桑名市生まれ

1991 年京都大学で理学博士を取得

専門は進化生態学、社会行動学、環境保全学

現在、岐阜経済大学地域連携推進センター長・教授、

福井県大野市「イトヨの里」館長、東京農工大学、国土交通大学校非常勤

講師、日本魚類学会外来魚検討部会長、応用生態工学会編集長、国土交通

省河川整備基本方針検討委員会委員、文化庁天然記念物委員会委員、愛知

県・福井県文化財審議委員、湧水保全フォーラム世話人、淡水魚保全研究

会事務局長を務める。

協力： 中部ESD拠点協議会

後援： 国土交通省三重河川国道事務所、三重県総合博物館、亀山市、鈴鹿市